



暗号資産監査準備チェックリスト：監査人が求めるものと、適切な回答の例

暗号資産の保有に対するほぼすべての監査で出てくる10の要求事項。各項目は監査人が求めるものと適切な回答の例を示しており、現場監査中ではなく、その前にギャップを埋めることができます。監査開始の少なくとも1ヶ月前までに取り組んでください。

CryptaCount

www.cryptacount.com

General information, not accounting, legal or tax advice

暗号資産監査準備チェックリスト：監査人が求めるものと、適切な回答の例

暗号資産の保有に対するほぼすべての監査で出てくる10の要求事項。各項目は**監査人が求めるものと適切な回答の例**を示しており、現場監査中ではなく、その前にギャップを埋めることができます。監査開始の少なくとも1ヶ月前までに取り組んでください。

暗号資産監査の概要

デジタル資産を監査する監査人は、4つの問いに答えようとしています。事業体が管理していると主張するものを実際に管理しているか、取引母集団が完全か、数値が文書化され一貫して適用される基準に基づいて測定されているか、そして転記された数値がすべて源泉に遡れるか。以下のすべては、これら4つのいずれかに役立つものです。事業体が失敗する場合、それは通常、完全性または送金に関してであり、計算によるものではありません。

チェックリスト

1. ウォレットと取引所の一覧、および管理の証明

求められるもの: 対象期間末において対象となるすべてのウォレットアドレス、取引所アカウント、カストディ関係の完全な登録簿と、事業体がそれぞれを管理している証拠。**適切な回答:** 各アドレスまたはアカウント、チェーンまたは会場、目的、責任のある署名者、管理の証拠（アドレスからの署名付きメッセージ、少額の管理された送金、カストディアンの確認など）を命名した維持された登録簿。報告日現在だけでなく、期間中に開設および閉鎖されたアドレスを含めてください。

2. 取引母集団の完全性

求められるもの: 会計チームが知っている取引だけでなく、期間内のすべての取引が捕捉されている証拠。**適切な回答:** 母集団は、手動エクスポートではなく、チェーンデータと取引所APIから直接取得されたウォレット登録簿自体から導き出され、各アドレスの期首残高プラス変動から期末残高への文書化された照合が行われている。データを生成しなかった登録簿内のアドレスは、黙って省略するのではなく、説明されるべきです。

3. 処分として扱われない内部送金

求められるもの: 事業体自身のウォレット間の移動のリストと、それらが実現利益または損失を生み出さなかった証拠。**適切な回答:** 各内部送金は、送金と受取が照合され、両方のレグがウォレット登録簿内にあり、帳簿価額が繰り越され、レポートはこれらの移動に対してゼロの利益を示しています。これは監査人が実行する最も効果の高いテストです。なぜなら、売却として計上された送金は、存在しなかった利益を生み出し、損益計算書と税務上のポジションの両方を水増しするからです。

4. 原価基準の方法、文書化され一貫して適用

求められるもの: 選択された方法、それが文書化されている場所、および例外なくすべての処分に適用された証拠。**適切な回答:** 方法は署名された会計方針に明記され、作成者ではなくシステムによって強制され、同じデータに対して再実行すると同じ利益が再現される。期間途中での方法の変更や、1つのウォレットでの異なる方法の使用は、それ自体が問題であることに注意してください。

5. 公正価値の慣行

求められるもの: どの価格ソースが使用されたか、どの時点で、ソースがカバーしなかった資産はどうなったか。**適切な回答:** 文書化されたソースまたは階層、各期末に適用される固定のカットオフ時刻とタイムゾーン、欠落価格のための明示されたフォールバック、および監査人が評価を受け入れるのではなく再現できるように、保存された価格とそのタイムスタンプ。

6. 各利益または損失の背後にあるロットレベルの計算

求められるもの: 処分のサンプルについて、消費された特定の取得ロット、その基準、収益、および結果として生じる利益または損失。**適切な回答:** サンプリングされた処分に対して、正確にどのロットが解放され、なぜ選択された方法がそれらを選択したかを示し、計算が可視化されているロットごとの元帳。ロット詳細のない要約数値はテストできず、裏付けがないものとして扱われます。

7. サブ元帳から総勘定元帳への照合

求められるもの: 総勘定元帳の転記が暗号サブ元帳の詳細と一致し、帳簿上の資産残高がカットオフ時にチェーン上および取引所で実際に保有されているものと等しいという証拠。**適切な回答:** 各集計されたGLラインがその基になる取引に分解され、差異がバランス調整ではなく、例えば遅延同期ウォレットや未分類取引などの原因によって説明される期間照合。

8. 手数料の処理と分類

求められるもの: 取得手数料、処分手数料、ネットワーク手数料の処理方法、およびその処理が記載された方針と一致するかどうか。**適切な回答:** 取得手数料は原価基準にトレース可能、処分手数料は純収益にトレース可能、ネットワーク手数料は方針に従って分類され、ガス精算時に発生するネイティブト

ークンの処分は無視されずに認識される。不整合に処理された手数料は、貸借対照表と実現利益の両方を歪めます。

9. 署名された会計方針

求められるもの: 期間中に有効な暗号会計方針（署名および日付入り）。**適切な回答:** 範囲、枠組み、測定基準、原価基準法、公正価値の慣行、手数料処理、収入処理、内部送金をカバーする最新の承認済み文書であり、監査人がどの期間にどの方針が適用されたかを確認できるように、廃止されたバージョンも保持されていること。お持ちでない場合は、[暗号会計方針テンプレート](#)から始めてください。

10. 再実行をサポートする監査証拠

求められるもの: 転記された仕訳を1つ選び、それを源泉に遡って追跡します。**適切な回答:** 集計されたGLエント리는そのコンポーネント取引を指し示し、各取引はウォレット、取引所の約定、またはオンチェーン取引ハッシュを指し、使用された価格は保存されたタイムスタンプ付きの見積もりを指します。監査人は、財務チームに手作業で再構築を依頼することなく、エンドツーエンドで転記を再実行できるはずです。

クイック自己評価

項目	準備する証拠	ステータス
ウォレットとアカウントの登録簿	各アドレスまたはアカウントの管理の証明を含む完全なリスト。	
完全性	登録簿から導出された母集団、残高の繰り越しと一致。	
内部送金	照合されたレグ、帳簿価額の保存、ゼロ利益の報告。	
原価基準法	方針に明記され、システムで強制され、再実行時に再現可能。	
公正価値の慣行	ソース、カットオフ、フォールバック、保存されたタイムスタンプ付き価格。	
ロットレベルの計算	転記された各利益または損失の背後にあるロットごとの詳細。	
サブ元帳からGL	期間照合と原因別に説明された差異。	
手数料	取得、処分、ネットワーク手数料がポリシー処理にトレース可能。	
会計方針	署名、日付、バージョン管理、期間中有効。	
監査証拠	転記がトランザクションハッシュまたは取引所フィルと保存された価格にトレース可能。	

ギャップを埋める

このチェックリストのほとんどは、**労力の問題**ではなく**システムの問題**です。**暗号資産サブ元帳**は、ウォレット登録簿を保持し、チェーンと場所のデータから**母集団**を直接取得し、自社ウォレットの移動を内部送金として認識し、決定論的に1つの**原価基準法**を適用し、使用した価格を保存し、集計された各転記をその下のトランザクションとハッシュにリンクさせます。**CryptaCount**は、90以上のブロックチェーンネットワークと100以上の取引所およびウォレットコネクタをカバーし、IFRSおよびUS GAAP元帳を備えているため、監査前のプロジェクトではなく、決算の副産物として証拠が存在します。

Disclaimer. 一般的な情報であり、法的、会計、税務アドバイスではありません。監査の期待は監査人やフレームワークによって異なります。監査人および資格のあるアドバイザーに要件を確認してください。



Put your crypto books on a real sub-ledger at app.cryptacount.com

© 2026 CryptaCount. All rights reserved.